

告示	番号	77	内分泌疾患
	疾病名	腎性尿崩症	

## 腎性尿崩症

じんせいにようほうしょう

### 概念・定義

腎臓の腎尿細管細胞の抗利尿ホルモンに対する感受性が低下して、尿の水分の再吸収が障害される。その結果、尿濃縮障害が惹起され、多尿を呈する疾患。

### 症状

- (1) 胎児期 母体の羊水過多
- (2) 新生児期 生後数日頃から、原因不明の発熱をきたし、さらにけいれんをきたす。血中 Na が高値を示す。
- (3) 幼児期～成人 多飲・多尿

### 治療

現時点では根治治療は困難である。経験的にチアジド系利尿薬や、それに加えてインドメタシンなどの非ステロイド系抗炎症薬が併用されているが十分な効果は得られていない。  
軽症の腎性尿崩症では、抗利尿ホルモンによってある程度尿量を減少させることが可能と考えられている。

抜粋元：[http://www.shouman.jp/details/5\\_8\\_13.html](http://www.shouman.jp/details/5_8_13.html)